

## 化学物質等安全データシート

会社名：株式会社 高純度化学研究所

住 所：〒350-0284 埼玉県坂戸市千代田 5-1-28

電 話：049(284)1511 F A X：049(284)1351

作成部門：本社 品質保証部

整理番号：ZNH02XAG

作 成：1995年 2月15日

R3：2011年 8月 9日

## 1 化学物質等及び会社情報

## 1.1 製品情報

製品名：酢酸亜鉛 Zinc acetate, hydrous

カタログ#	ZNH02XB
純度, 形状, 備考	-, 固体, -

## 1.2 会社情報 上部に記載

## 2 危険有害性の要約

## GHS 分類

健康に対する有害性	環境に対する有害性	物理化学的危険性
急性毒性(経口)；区分4	データなし	水反応可燃性化学品；区分外

GHS ラベル W



絵表示

注意喚起語 警告

危険有害性情報	注意書き
飲み込むと有害(経口)	<p>粉塵、ミスの吸入を避ける。取扱い中の飲食喫煙を避け取扱い後は手洗いを励行。</p> <p>飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。</p> <p>暴露したとき、または気分が悪いときは医師に連絡すること。</p> <p>内容物/容器を法規に従って廃棄すること。</p>

国・地域情報：・ 毒物及び劇物取締法 劇物(無機亜鉛塩類)

その他の危険有害性：・ その他該当項目に参考情報を記載した。

## 3 組成, 成分情報

単一製品, 混合物の区分：単一製品

化学名：酢酸亜鉛二水和物

Zinc acetate dihydrate

化学式：Zn(CH<sub>3</sub>COO)<sub>2</sub>·2H<sub>2</sub>O

組 成：100%

P R T R法に基づく表示：亜鉛含有率；30%

官報公示整理番号：・ 化審法 既存化学物質 2-693

C A S #：5970-45-6(無水物；557-34-6)

RTECS#：ZG8750000

T S C A：登録(無水物)

EINECS：2091702(無水物)

## 4 応急措置

目に入った場合：・ 流水で眼を最低15分間洗浄し、眼科医の手当を受ける。

・ 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。

皮膚に着いた場合：・ 物質に触れた部分を多量の水を流しながら、石鹸を使ってよく落とす。

・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医療処置を受ける手配をする。

- 吸入した場合：・ 被災者を空気の新鮮な所に移し、医療処置を受けさせる。  
 ・ 鼻をかませ、うがいをさせる。
- 飲み込んだ場合：・ 直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中をうがいさせる。

### 5 火災時の措置

- 一般的注意：・ 表題製品は、消防法の非危険物であるが、火災による熱で分解して毒性のガスを発生するおそれがある。
- 消火方法：・ 消火の際には必ず保護具を着用する。  
 ・ 危険でなければ火災区域から容器を移動させる。
- 消火剤：・ 水噴霧、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂

### 6 漏出時の措置

- 一般的注意：・ 可能であれば漏れを止める。不必要にこぼれた物に触れない。
- 処理作業員に対する注意：・ 作業の際には必ず保護具を着用し、粉末の付着、吸入を防ぐ。  
 ・ 屋内の場合処理が終わるまで十分に換気する。屋外では風上から作業する。
- 環境影響に対する注意：・ もれ出た物質や希釈水が河川等に排出されないよう注意する。
- もれ出た物の処理に対する注意：できるだけ掃き集めて密閉できる空容器に回収する。

### 7 取り扱い及び保管上の注意

#### 取扱上の注意

- \* 一般的注意：・ 本製品は毒物劇物取締法の劇物です。取扱に当たっては被毒しないよう充分注意を払って下さい。
- \* 作業員の暴露防止：・ 適切な身体保護具を着用し、局所排気装置を利用して作業員が物質に触れないよう、また物質の蒸気や粉塵を吸引しないようにする。  
 ・ 取扱いは、換気の良い場所で行う。

#### 保管上の注意

- \* 一般的注意：・ 乾燥した冷暗所に、容器を密閉して保管する。  
 ・ 鍵のかかる専用の毒劇物保管場所に保管する。

### 8 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度：・ 作業環境評価基準(2009)： 規定なし
- 許容濃度：・ 日本産業衛生学会(2010) 第3種粉塵 8mg/m<sup>3</sup>(総粉塵), 2mg/m<sup>3</sup>(吸入性粉塵)  
 ・ ACGIH(2008), OSHA(2006)；記載なし。
- 設備対策：・ 製品に暴露される可能性のある箇所では局所排気設備を利用する。
- 保護具：・ 防塵マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等

### 9 物理的及び化学的性質

注) 指数以外の右肩付数は温度(°C)

- 外 観 等：・ 無色単斜晶系固体
- 化 学 式： Zn(CH<sub>3</sub>COO)<sub>2</sub>·2H<sub>2</sub>O 式 量：219.5
- 融 点： 235~237°C
- 密 度： 1.735 g/cm<sup>3</sup>
- 溶 解 性 \* 水：可溶

- 可燃性：・ 燃える。
- 酸化性：・ なし。

### 10 安定性及び反応性

- 安定性：・ 容器を密閉して、室温保管で安定。
- 反応性(避けるべき条件)：・ 強酸化剤

### 1 1 有害性情報

- 急性毒性(経口) : ・ GHS 判定 区分 4 ; 飲み込むと有害  
 ・ ラット LD<sub>50</sub> = 794 mg/kg(EHC 221(2001))
- 急性毒性(経皮, 吸入) : ・ GHS 判定 データなし。
- 皮膚腐食性/ 刺激性 : ・ GHS 判定 区分 3  
 ・ 20%酢酸亜鉛水溶液は軽度な皮膚刺激性を示した。(EHC 221(2001))
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : ・ GHS 判定 データなし。
- 呼吸器感作性 : ・ GHS 判定 データなし。
- 皮膚感作性 : ・ GHS 判定 データなし。
- 生殖細胞変異原性 : ・ GHS 判定 データなし。  
 ・ 変異原性が認められた既存化学物質等(平成 22 年 11 月 30 日現在)に該当しない。
- 発がん性 : ・ GHS 判定 データなし。  
 ・ 日本産業衛生学会(2009), IARC(2007), NTP(2005)及び ACGIH(2006)に記載なし。
- 生殖毒性 : ・ GHS 判定 データなし。
- 特定標的臓器毒性
- 単回曝露 : ・ GHS 判定 データなし。
- 反復曝露 : ・ GHS 判定 データなし。
- 吸引性呼吸器有害性 : ・ GHS 判定 データなし。

### 1 2 環境影響情報

- 水性環境急性/慢性有害性 : ・ GHS 判定 データなし。
- 分解性 : ・ 無機物であり検討の対象外である。
- 蓄積性 : ・ Zn 生物学的半減期 933 day, ・ 吸収率 経口 = 0.1 , 経気道 = 0.3
- 魚毒性 : ・ 現在のところ知見なし。
- オゾン層 : ・ フロン, ハロンでない。
- 海洋汚染 : ・ 海洋汚染物質に該当しない。

### 1 3 廃棄上の注意

- 廃棄方法 : ・ 専門の業者に委託する。
- 特別管理産業廃棄物 : ・ 該当しない。

### 1 4 輸送上の注意

- 国連分類 : (非危険物) 国連番号 : -
- 輸出統計 : 2915.29-000 輸入統計 : 2915.29-090

#### 陸上輸送 :

- ・ 道路法、消防法 : 非危険物
  - ・ 毒物及び劇物取締法 : 劇物 (毒物及び劇物指定令第 2 条 無機亜鉛塩類)
- 高圧ガス保安法 : 該当せず。

- 注意事項 : ・ 運搬中の温度、湿度、圧力等の変化で破損や漏洩等のおそれがない容器に、輸送中の破損等が起こらないように収納する。

## 1 5 適用法令

## ◆規制条項

- ・ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：◇既存化学物質
- ・ 労働基準法：◇該当項目なし
- ・ 労働安全衛生法：◇名称通知物質や危険物、特定化学物質等に該当しない。
- ・ 毒物及び劇物取締法：◆劇物（毒物及び劇物指定令第2条 無機亜鉛塩類）
- ・ 消防法：◇非危険物
- ・ 化学物質管理促進法(P R T R 法)：◆第一種指定化学物質 別表第一 1号  
亜鉛の水溶性化合物
- ・ 道路法：◇非危険物
- ・ 船舶安全法◇非危険物
- ・ 港則法：◇非危険物
- ・ 航空法：◇非危険物
- ・ 外国為替及び外国貿易管理法 \* 輸入貿易管理令：◇自由化品目  
\* 輸出貿易管理令：◆補完的輸出規制 16 項該当
- ・ 環境基本法：環境基準 ◆大気(浮遊粒子状物質)◆水質(浮遊物質)◇土壌(一)
- ・ 大気汚染防止法：◆粉じん、ばい煙
- ・ 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：◇特定物質でない。
- ・ 悪臭防止法：◇悪臭物質に該当しない。
- ・ 下水道法：◆亜鉛含有量
- ・ 水質汚濁防止法：◆排水基準(浮遊物質,亜鉛含有量) ◇地下浸透規制(一)
- ・ 土壤汚染対策法：◇該当なし。
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：◇特別管理産業廃棄物に該当しない。
- ・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律：◇海洋汚染物質に該当しない。

## 1 6 その他

## 参考文献：

- 1) 日本化学会編, 化学便覧 基礎編 改訂 5 版 ; 丸善
- 2) 化学大辞典 ; 共立出版
- 3) P.G.Stecher et al.;The Merck Index 11th Ed.
- 4) David R. Lide, CRC Handbook of Chemistry and Physics 76th Ed.,CRC Press
- 5) R.E.Lenga; The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data
- 6) 山県 登 ; 微量元素 ; 産業図書

注意事項：・ 本情報は製品に対しての品質保証や安全保証をするものでなく、製品の危険、有害性等に関する情報を提供するものです。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策をお願いいたします。